

市内中小企業の新たな発展モデルの
構築を目指す交流会
資料

「中小企業の雇用対策」

テーマに対する想い①

- 少子高齢化による人材不足は、中小企業にも例外なく多大な影響。今から取り組まないと間に合わない。
- 東都ラバーインダストリーでも人材不足は課題。
- また、従業員を育成するためには、仕事を続けていくことが前提。その前提は確実ではない。
- 地元工業高校の生徒が、市内中小企業に就職していた時代はあった。今では？
- 就職率は上がっている。＝地元中小企業へはどうか。

テーマに対する想い②

○地学地就

- ・高校や大学は、地域で必要とされる人材を育てる。
- ・地域で学び、地域で就職する。
- ・地域の学生に地域の中小企業を知ってもらって、地元での就職を促す。

○地元学生の採用にあたりメリットと考えていること。＝前提につながる。

- ・職場に近いから止めない。
- ・学校とのつながりができ、優秀な人材を採用できる。

○確実にメリットを掴み取るために、取り組んでいること

- ・地元学生のインターンシップの受け入れ
- ・地元学生への優遇制度

実現したい事

○実現したい事

自社の発展と地域への貢献を目的に、市内中小企業が、有利に優秀な人材を地元から確保できる仕組みづくり

○街づくり、地域貢献につながることを自覚する。

- 採用者が地域に住みつつける「きっかけ」づくり。
＝多くの人に選ばれる街
- 市内での消費が創出される。
＝市民の所得が市外に流出することを防ぐ。
- 市民に所得(給料)が生まれる。
＝地域の街づくりに活かされる。

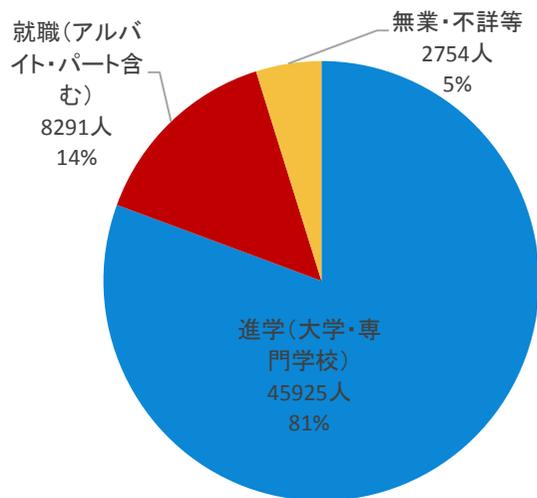
○市内経済の好循環を創出する一助。

テーマに関するデータ等の資料

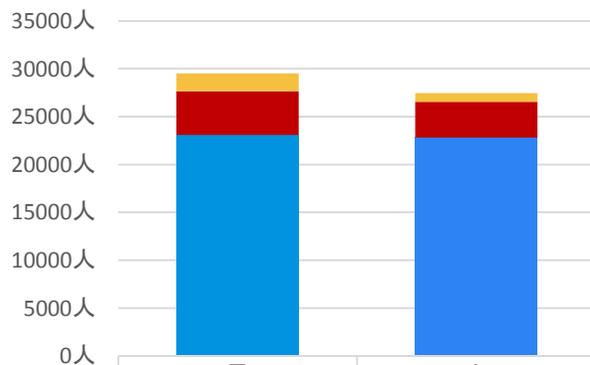
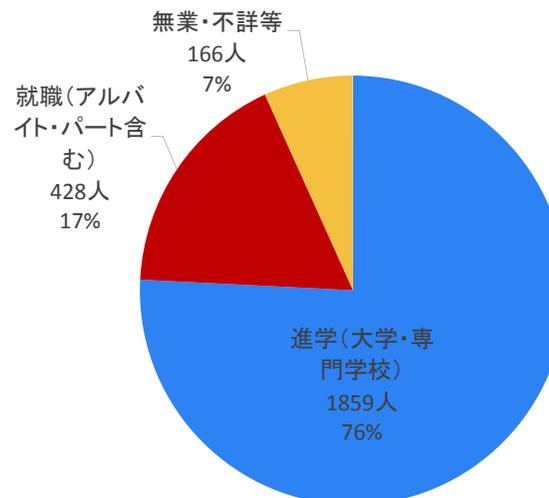
- 埼玉県内高校卒業者の進路
- 川口市内高校卒業者の進路
- 「川口若手ものづくり人材育成プロジェクト」の成果
- 企業選びのポイント

高校卒業者の進路状況

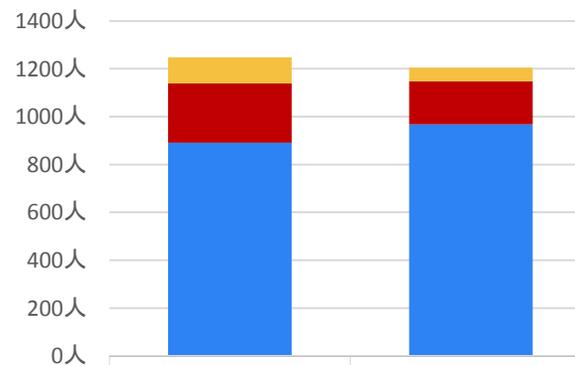
○埼玉県内



○川口市内



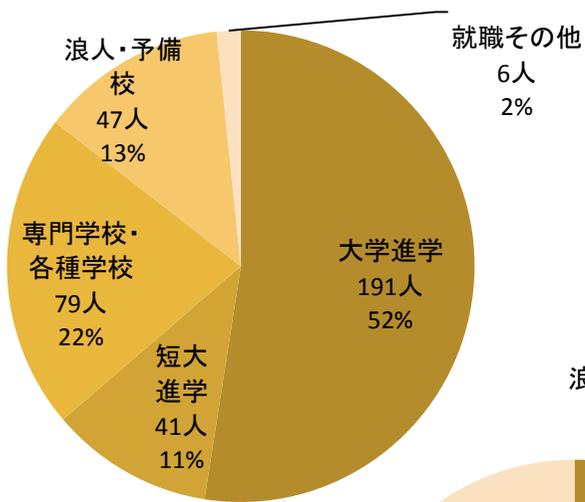
	男	女
■ 無業・不詳等	1853人	901人
■ 就職(アルバイト・パート含む)	4564人	3727人
■ 進学(大学・専門学校)	23097人	22828人



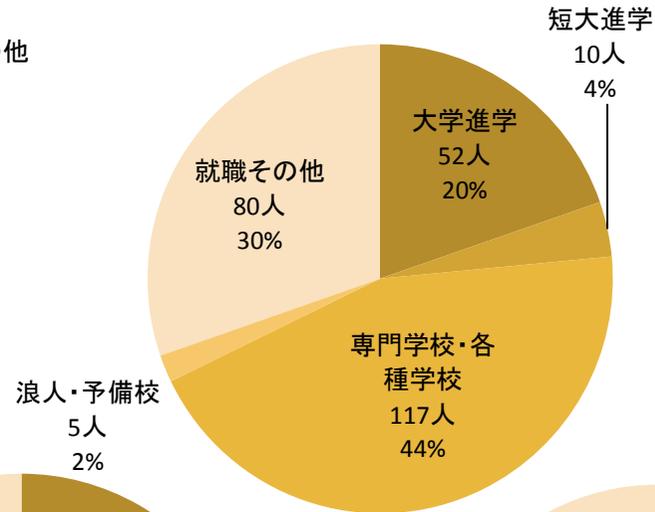
	男	女
■ 無業・不詳等	109人	57人
■ 就職(アルバイト・パート含む)	248人	180人
■ 進学(大学・専門学校)	891人	968人

市内5校進路実績

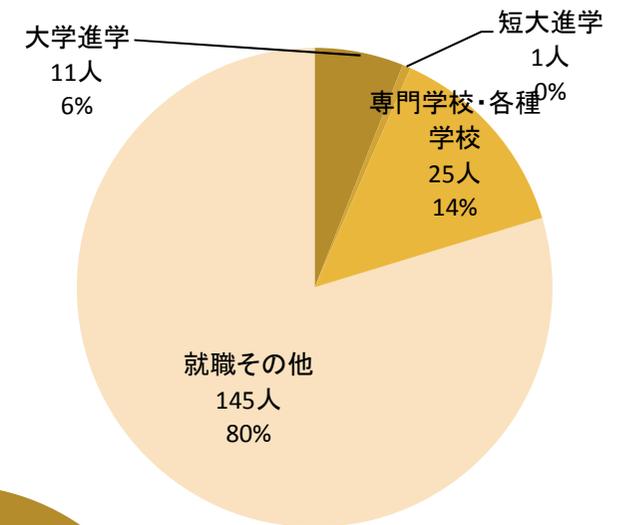
川口高等学校



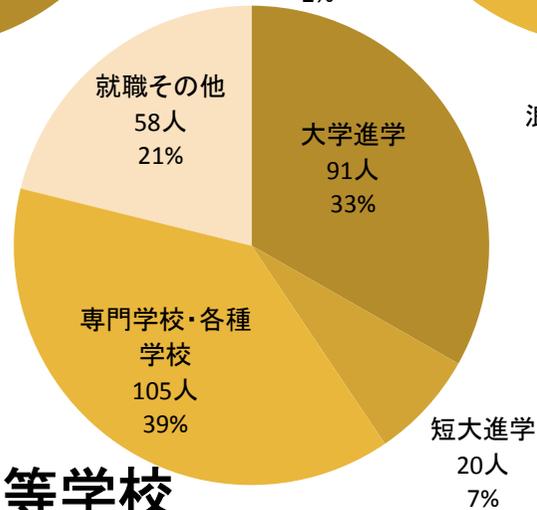
川口青陵高等学校



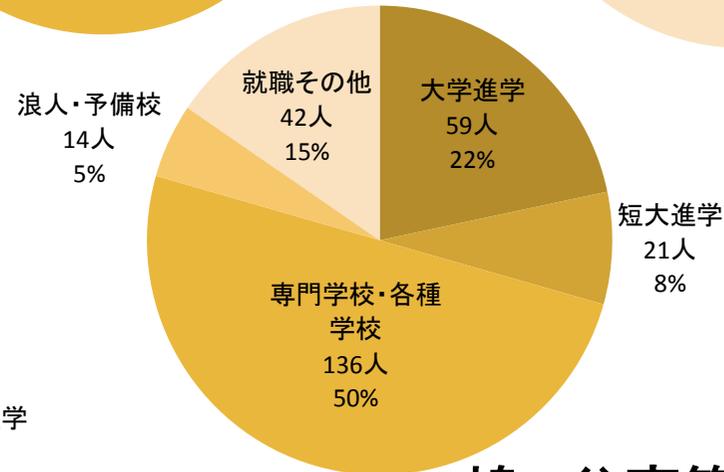
川口工業高等学校



川口東高等学校



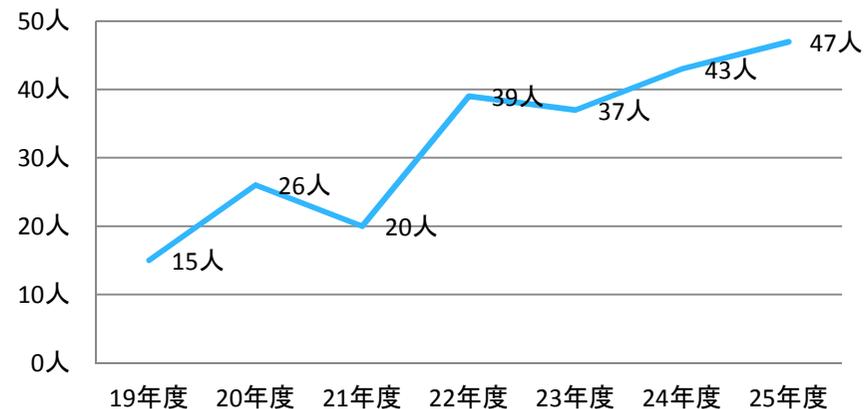
鳩ヶ谷高等学校



「川口若手ものづくり人材育成プロジェクト」の成果

■概要

川口商工会議所を中心に、産業界と行政、教育機関が連携し「地学地就」を目的に教育プログラムを実施。川口工業高校に技術者を派遣する特別授業、インターンシップ、親子ものづくり体験ツアーなどを実施。

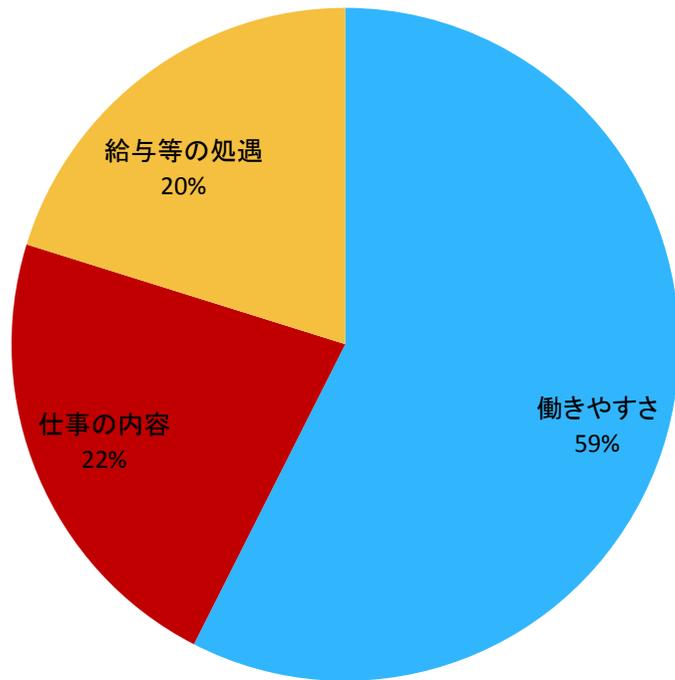


■成果

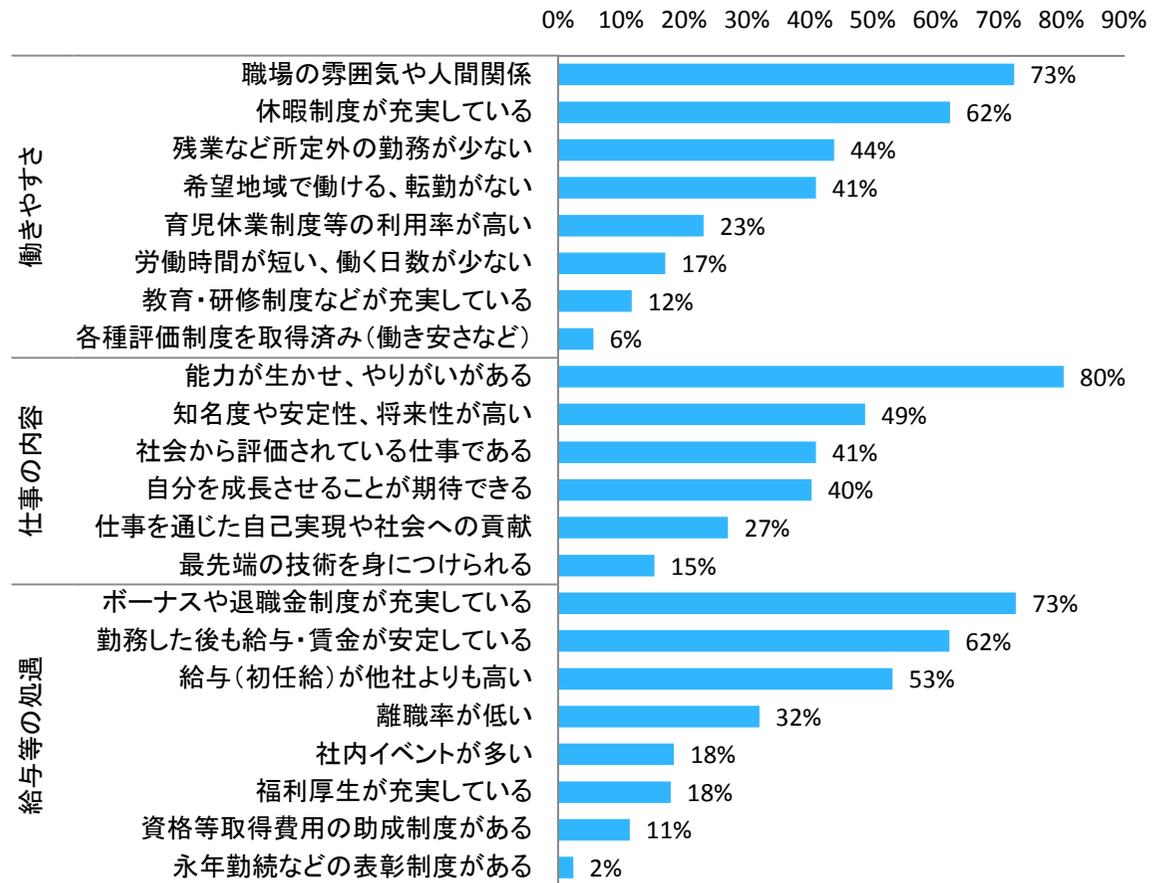
- ・市内企業への就職者数の増加
- ・文部科学省・経済産業省共催「キャリア教育推進連携事業」表彰において、平成26年度の最優秀賞を受賞。

企業選びのポイント

○3大分野



○3大分野の具体的要素



テーマに関する意見交換

■疑問

- 地元学生の採用のメリットは何なのか。改めて聞きたい。
 - ・中小企業は、地元学生を採用しているのか。
- 地元学生は、地域の中小企業を知っていると思うか。

【参加企業の採用の現状と課題について】

- ・
- ・

【地元採用について】

- ・

行動に移すための必要な準備

【行政の取り組みを知る】

- 川口市
- 埼玉県
- ハローワーク
- 産業支援機関

行政の取り組み

✓ 労働行政施策

1. 若者就職支援

国、埼玉県、川口市

2. 合同企業面接会

埼玉県、川口市、蕨市、戸田市

3. 求職者開拓現地訪問事業

国、川口市、商工会議所

4. 県内主要高等学校進路指導担当教諭と
市内企業との意見交換会

川口市、商工会議所

✓ 新規高等学校卒業者の採用について
(厚生労働省 埼玉労働局)

労働行政施策

1. 若者就職支援

国、埼玉県、川口市

若者を主とした求職者に対し、相談から職業紹介までを国・県・市の三者連携によるワンストップで就職支援を行う「川口若者ゆめワーク」を開設している。

<取扱状況（平成29年度）>

国・県・市の担当窓口	取扱内容	利用者数	1日当たり	就業者数
国 ハローワーク プラザ川口	職業紹介・職業相談	23,337	86	946
県 若者自立支援 センター埼玉	若年無業者や進路に悩む若者の就業活動支援	3,067	10.5	136
市 セミナールーム	求職者のキャリアアップを目指すために講座を開催し専門講師が支援	1,592	13.7 (1回当たり)	60

2. 合同企業面接会

埼玉県、川口市、蕨市、戸田市

中小企業と求職者のマッチングの機会を増やし、企業の人材確保に貢献するとともに若年者の定住化に資することを目的に、埼玉県と川口市・戸田市・蕨市等が合同で開催した。

<開催結果（平成29年度）>

実施日	会場	対象	内容	参加企業数	参加者数	就業者数
9月26日	川口駅前 市民ホール (フレンディア)	平成30年3月大学等を卒業予定者及び40歳未満の既卒者	企業PRタイム 各企業ブース面談 相談コーナー	41社	84人	6人
12月12日				38社	78人	2人
2月6日				40社	43人	2人

労働行政施策

3. 求職者開拓現地訪問事業

国、川口市、商工会議所

市内事業所の求人票を掲載した「川口市内企業求人情報」を県内はじめ、都内一部の高等学校等に持参するなど、若年労働者の確保に努めた。

＜開催結果＞
(平成30年度)

訪問月	訪問校数	訪問者
平成30年7月	37校	川口商工会議所雇用対策委員会の委員・幹事、川口市及び川口公共職業安定所の職員30名が訪問

4. 県内主要高等学校進路指導担当教諭と市内企業との意見交換会

川口市
商工会議所

市内、県内近隣及び東京地区の高等学校の中から、市内企業への過去の送出実績の高い学校の進路指導主事等を招き、川口についての認識を深めてもらい、もって市内企業への若年労働力(新規学卒者)の確保を図ることを目的に開催した。

＜意見交換会参加校一覧＞

平成30年5月30日 実施

No	学校名	No	学校名	No	学校名
1	県立大宮工業高等学校	7	県立久喜工業高等学校	13	県立越谷総合技術高等学校
2	県立鳩ヶ谷高等学校	8	県立八潮南高等学校	14	県立浦和商业高等学校
3	県立和光高等学校	9	私立叡明高等学校	15	県立川口青陵高等学校
4	県立戸田翔陽高等学校	10	都立練馬工業高等学校	16	県立川口工業高等学校(定時制)
5	県立草加西高等学校	11	県立川口工業高等学校	17	都立足立工業高等学校
6	県立いずみ高等学校	12	県立三郷工業技術高等学校		

新規高等学校卒業者の採用について① (H30学校求人への申込日程等)

(1) 平成30年度求人申込・選考等日程

	中学校	高等学校	大学(院)・短期大学 高等専門学校・専修学校
2月			1日 求人受理開始
3月			
4月			1日 求人票公開開始
5月			
6月	1日 求人受理開始	1日 求人受理開始	1日 学校推薦開始
7月	1日 求人票返戻開始 安定所からの求人 連絡開始	1日 求人票返戻開始 安定所からの求人 連絡開始	
8月			
9月		5日 応募者の推薦開始 16日 選考開始	
10月			1日 採用内定開始
11月			
12月			
1月	1日 応募者の推薦開始 選考開始		
2月			
3月		卒業後、就業開始可能	
4月	1日 就業開始可能日		
備考	積雪地域の中学校は、12月1日 推薦・選考開始	沖縄県内の高校は、8月30日 推薦開始	

(出所)厚生労働省 埼玉労働局

新規高等学校卒業者の採用について② (H30学校求人申込日程等)

(2) 新規高等学校卒業者

① 高等学校卒業予定者の応募・推薦等について

高等学校卒業予定者の応募・推薦につきましては、選考開始期日等を背景として、就職希望者を短期間で円滑に結びつけるうえで、また可能な限り多くの生徒に等しく希望する事業所や職種に応募することができるようにするうえで、指定校制、1人1社制、校内選考といった慣行が一定の役割を果たしてきたところです。

しかし、高校生の就職を取り巻く環境が年々変化する中で、このたび埼玉県教育局をはじめとした学校関係者、労働局、経営者団体の参加により開催された「埼玉県高等学校就職問題検討会議」において、現行の慣行を一部維持しつつ、生徒の職業意識を高めるとともに、複数の就職機会の中から希望に合致した職業を選択できるように下記のとおり申し合わせがあったところです。

つきましては、この申し合わせをご理解のうえ、ハローワークへの求人を行う際に、**「10月1日からの応募・推薦について、複数応募(併願)の可否」**について、求人申込書【高卒】の「複数応募」欄(19欄)にご記入いただきますようお願いいたします。

埼玉県高等学校就職問題検討会議申し合わせ事項

1 複数応募・推薦について

平成30年度については、推薦開始日からは1人1社の応募・推薦とするが、10月1日以降は、事業主の承諾を得た場合に限り複数の応募・推薦(原則2社まで)を認める。

2 応募前職場見学について

就職希望生徒の職業や職場に対する理解を深め、適切な職場選択および就職後の早期離職の解消に資するため、事前・事後指導の徹底を図り、応募・推薦開始日前の職場見学を推進する。

※ 平成30年2月13日申し合わせ

(出所)厚生労働省 埼玉労働局

まとめ

【参加企業の採用の現状と課題について】

-
-

【地元採用について】

- 地元採用が良いか、悪いか
- どんな人材を求めているか など

【今後の展開について】

- 採用までの具体的な行動スケジュール作成
- ターゲットの絞込み、市内高校へのアプローチ方法、新卒者に自社を知ってもらえるような取組の検討
- 就職したい中小企業とはどういった企業か検討